令和２年度（令和２年）自己評価書

真庭市立湯原こども園

1. 湯原こども園の教育保育目標

　○心身共に健康で、友達を大切にして元気に遊ぶ子ども

○よく見、よく聞き、よく考えて行動する子ども

　　　　・話のできる子ども

　　　　・手をつなぐ子ども

　　　　・考える子ども

1. 本年度の重点目標

○子どもが安心して自己発揮できる保育者や友達との信頼関係づくり。

○運動遊びや活動を通して体を動かすことの心地よさを体験し、挑戦したくなる環境づくり。

○異年齢児交流の関わり中で、友達関係を深めお互いが育ちあう仲間づくり。

○自然豊かな環境の中で、意欲的に自然に関わり、発見をしたり感じたり体験したことを遊びや表現活動に取り入れる。

○職員の危機管理意識の向上を図るとともに、安全に必要な習慣や態度を身に付けるように指導を充実させる。

1. 園評価の個別評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価指標 | 考　察 | 園総合評価 |
| 教育課程・指導計画 | 子どもの姿や育ちを捉え、育てたい力を意識し子ども主体の保育実践に努める事ができた。 | ３ |
| 行事 | 行事の形態を変更し日々の保育の中から子ども主体の行事となるよう計画し取り組んだ。 | ３ |
| 組織・運営 | 会議、園内研修の中で話し合いを重ね、職員同士共通理解を持ち保育に努めた。 | ２ |
| 学級経営 | 担任は、子ども一人一人を大切に保育者との信頼関係の中で子ども理解に努め、保育が実践できた。 | ３ |
| 特別支援教育 | 配慮を要する子どもの姿を職員間で共通理解していくようにした。 | ３ |
| 安全管理・保健指導 | 毎月安全点検を実施し、危険箇所があれば早急に修繕を依頼し安全管理に努めた。 | ３ |
| 研修（資質向上） | 研修の中で、職員同士が学び合える機会を持ちお互いの気付きを出し合い保育に活かした。 | ３ |
| 情報提供・保護者・地域との連携 | 地域の行事に参加する経験を持てず、自信に繋がりにくかった。保護者への情報提供は、連絡帳・園だよりウサギメールで発信している。 | ３ |
| 小学校との接続・連携 | こ小中連絡会が年2回あり、情報共有ができた。行事参加もあり就学への期待が持てた。 | ３ |
| 子育て支援 | 個人懇談や送迎時の会話を大切にし、情報発信や困っていることを聞く等、保護者に寄り添うようにした。 | ２ |
| 食育の推進（給食） | 栽培活動やクッキングを通して命をいただく取り組みの中で健康・成長について学べた。 | ３ |
| 食事の提供（調理） | 安心安全な給食提供に心がけ徹底した調理に努めた。 | ４ |

４．その他必要な評価

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価指標 | 考　察 | 園総合評価 |
|  |  |  |

５．本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

・保育者は明るく笑顔で子ども達、保護者を迎えるように努めた。

・子ども達は、保育者や友達との信頼関係を築きながら、のびのびと自分を表現し

　成長している。

・保育活動では昨年に続き、異年齢児交流を増やしクラスの枠を超えた活動をする中で、友達の気持ちを考えたり、思いやる気持ちをもったり、友達を受容する姿が見られ、子どもの内面の育ちに繋がった。異年齢児同士の自然な関わりの中で、年齢の大きい友達の遊びを真似たり、できないことに挑戦しようとしたりする子どもの姿が見られた。また佐藤セミナーを通して、子どもの育ちを的確に捉え、自己研鑽を深めながら、保育者同士の話し合いができた。

・園外活動を多く取り入れ、子ども達から地域への関わりや身近な自然への働きかけが行える環境整備をし積極的に活動できた。

・子どもの現状から、運動遊びに苦手意識がある子どももいたので、体を動かすことの心地の良さを体験し、挑戦したくなる環境を作ったことで、励みになり意欲的に楽しんで取り組めた。

・安全管理においては、職員間でマニュアルを確認し徹底に努めた。

・感染症対策の方針や、実践していることの発信不足から保護者から不安を感じたとのアンケート結果が見られた。

６．評価結果を受けての具体的改善方策等

・職員は一人一人の子どもの姿を的確に捉え、保育のねらい・内容を明確に、育ってほしい力・育てたい力を意識し、子どもが園に通うのを楽しみに、また、保護者も安心して預けられる園づくりをしていかなければならない。

・子ども達の園生活の様子が保護者に十分に伝わるように、ドキュメンテーションを取り入れ子どもの姿を伝えていく。

・園外保育においては、安全面を事前に確認し、職員体制を整えた上で恵まれた周囲の自然を五感で感じながら、子ども達の感性が豊かに育っていく保育実践をしていく。また、子ども達の体力向上にも繋げていく。

・保護者参加の行事の日程は、地域行事・学区の小・中学校の行事を考慮し計画する。また、ねらいを保護者に伝え、子ども主体の行事計画にしていく。

・例年通りの園行事が開催されることを望む声あるので、感染症対策を講じながら日程及び内容を十分検討していきたい。